

北地域後援会は我孫子1～4・久寺家・台田・つくし野・並木・根戸・布施のエリア



しらかば北

発行責任者

井上文夫



子どもたちに声をかける船橋さん

毎朝、湖北台西小学校への通学路踏切で、通学する子どもたちの安全確認を行っている船橋まさるさんがいます。学校から300mほどの踏切りで、通学児童を見守り安全確認を続けている船橋さん。4年前から、朝7時から8時15分まで、子どもたちを見送っています。7月5日、通学児童は70人でした。

通学児童の安全確認を
毎朝続けて4年

子どもと平和… 船橋まさるさんガンバル

平和への思いを語る
船橋まさるさん

8月12日、北口ヨーカ堂前で日本共産党と後援会の人たちが宣伝活動を行いました。船橋まさるさんがマイクをもって訴えました。「毎年長崎原水爆禁止世界大会に参加しています。出身は長崎で、卒業した高校は爆心地からわずか800mの所です。一瞬にして230人の人が亡くなりました。長崎では7万人が原爆で亡くなっています。すべての国で核を持つことを禁止することです。核兵器禁止条約に署名しない日本です。唯一の被爆国の首相なのかと言いたい。日本共産党を大きくしなければなりません。よろしくお願いいたします。」(江)

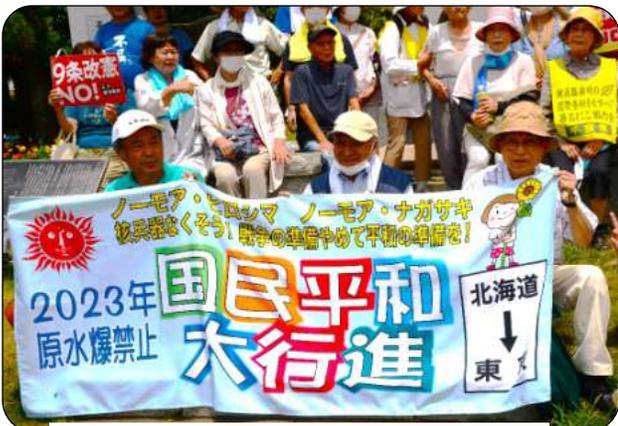


市役所を出発する行進の先頭

国民平和大行進は北は5月7日礼文島、南は6月11日沖繩を出発し、行進は全国をまわって引き継がれて広島・長崎に向かいました。

被爆78年！ 核兵器のない世界をつくるために 我孫子平和大行進

政府が強引に進めようとしているマイナンバーカードは見直すべきと訴え、ビラを配りました。



手賀沼公園に到着して記念写真

広島・長崎で行われる原水爆禁止世界大会には、世界の国と地域から43の代表が参加し「核兵器のない平和な世界の実現」を確認。

7月22日、我孫子市役所駐車場から23年平和大行進が出発した。出発に先立ち、実行委員長の船橋まさるさんが平和行進の重要性を訴えるあいさつをした。先導する宣伝車の市民への訴えが続き、炎暑の中、約50人が横断幕、のぼり旗を立てて元気よく手賀沼公園「平和の記念碑」まで行進した。「平和の記念碑」前で、柏市の実行委員会に平和行進の引き継ぎを行ったが、その中で野村貞夫議員と船橋さん(長崎県出身)が原水爆禁止長崎大会に参加することが報告された。(竹)

花火

広島・長崎の原爆投下から78年目の今年も原水爆禁止国民平和大行進が行われた。7月22日、我孫子市役所に約50名が集まり、炎天下手賀沼公園まで行進した。私も杖をつきながら参加した。参加者の高齢化が進み年々行進者が減少している。若い人たちが平和のために行動し参加することを願う▼行進に先立ち青木副市長から「毎年中学生を被爆地に送り、平和の尊さを学ぶ機会をつくっている」と挨拶があった。この活動は専ら誇りに思う。さらに卒業生が行進に参加されることを望む▼我孫子市議会では5年前に「核兵器禁止条約に署名し批准することを国に求める意見書と誓願」を全会一致で可決採択している。現在全国では659の議会で、この意見書を採用している。今年1月現在、条約の署名国は92カ国となっている▼唯一被爆国である日本政府は核兵器禁止条約の批准を拒んでいる。▼東京の新宿で高校生たちが、核兵器廃絶の署名を呼びかけていた。核兵器をなくしたいと賛同する多くの人が署名していた▼今年8月、被爆地長崎の平和祈念式典に派遣された中学生の報告会「平和の集い」が12月に行われる。(初)

渡辺藤正市長のこと(下) 吉松千草

(前号より続く)

私たち共産党は市長の清潔な政治姿勢を高く評価していいました。また、市長が*「大正デモクラシーを勉強したので民主的にやりたい」と話されていたんですが、きちんとそれを実行する誠実なお人柄は市長と言われるのは当然だと思っていました。

議会での運営では「日の丸掲揚」などで国政問題では意見が異なることもありましたが、市民にとって利益になるかをよく議論し、一致点を見つけました。

市民の要望を実現するためには予算が必要です。そのため、私はゴミの資源化をはじめ市の予算を増やすことを実現

現させて市長を支えるよう務めました。

「貴方達共産党は、懸命に市長を応援するが、市長は何かしてくれるのか」と聞かれました。こんな質問に驚きました。私は、「市長のお庭のシランをいただいたくらいです。市民の要望を実現していただくだけでお願いです」と答えました。すると、その方は、「そのようだね」と不思議そうなお顔でした。そのシランは今でも我が家の庭に元気に花を咲かせています。

「憲法を心とした田園、教育、文化都市を」を掲げて、我孫子市政の基礎を築いた藤正市長に対し、自然は残されたが、開発から遅れたといわれます。

現在人口は減り、少子化は深刻な事態です。新たな困難に立ち向かわねばなりません。しかし、我孫子市の豊かな自然環境が残されていることは貴重です。自然は一度壊すと取り返しがつきません。我孫子の「まちづくり」は、この



席上であいさつする渡辺市長

自然環境をどう生かすかにかかっていると思います。渡辺藤正市長なら、市民の意見を徹底的に聞き、まちづくりの創意を引き出ししてくれたいです。

私はそう確信しています。

*大正デモクラシー

大正時代(1910年〜1925年ごろ)、政治・社会・文化各分野に起こった、民主主義・自由主義的運動

なお、前号・今号で使用した写真はいずれも吉松さんから提供されたものです。

原稿募集

我孫子市域(北地域ならより歓迎)に関する生活情報、市政にかかわる要望などの原稿を募集しています。

絵手紙・写真募集

紙面を飾る絵手紙・写真などを募集しています

問い合わせは江角(080)11655869)まで

〈思いを伝える〉

スタンディング

我孫子駅頭でスタンディングを始めてから7年になる。毎月3日、午後1時から1時間。安保法制が強行採決された2015年の11月から続けている。澤地久枝さんらの呼びか

寄稿 我孫子に暮らす(2) 小原 紘

(我孫子2丁目在住)

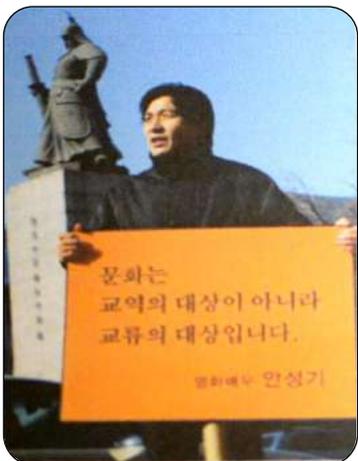
けに呼応した。一人で立つこともあれば三人くらいのこともある。

それにどんな意味があるのか疑問に思われるかもしれない。自分でも確信はない。とにかく自分の思いを伝えたい。共感の輪が広がることに一縷の望みをかけてやってきた。かつてベトナム戦争反対の

ゼッケンをつけて通勤した金子徳好さんという方がいた。話を聞く機会があったが私にはとても真似をする勇氣はなかった。最近、元原発の設計技師だった小倉志郎さんがゼッケンを日常的に着けているのを知った。運動の手詰まり感を打ち破ろうとする強い意志が感じられる。個人で行うアップール活動が全国に広がっている。

ところで隣国韓国はひとりデモ(スタンディング)の先進国だ。2006年にはアメリカ資本に屈せず「韓国の映画文化を守れ」と人気俳優が次々と街頭に立った。写真は韓国の国民的俳優 安聖基(アン・ソンギ)のひとりデモ。掲げたプラカードは「文化は金儲けの対象でない。交流の対象だ」。芸能人が率先して政治的主張を発信するのは韓国の特色でもある。その後もソウルの街でさまざまな要求をひとり掲げている姿

をよく目にした。朴槿恵大統領を弾劾する「ローソクデモ」は、「組織動員」とは無縁で、明確な主張を持った個人が集まったと言われている。日本とは随分と違う。労働団体はもっぱら警備と会場整理を担当した。2015年ソウルの繁華街、鐘路で一人デモをする女子高生を発見した。彼女はプラカードを掲げて国定教科書に抗議した。高校生でもここまでやるのかと感心した。民族性なのか民主化運動から育まれたものなのか。原発署名に「ワカンネー」というわが国の女子高校生とは明らかに違う。通行人の激励と差し入れにも感動した。(続く)



感動した。(続く)

〈写真〉プラカードを一人で掲げる女子高生

